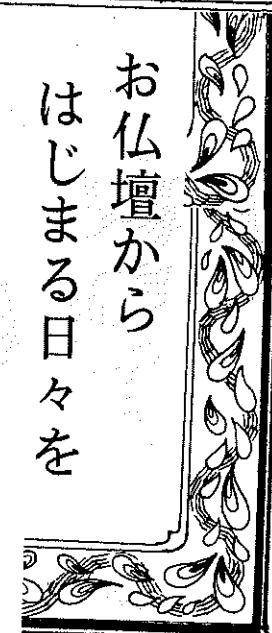


う
ら
か
ら
お
仏
壇
か
ら
は
じ
ま
る
日
々
を



今度新しくつくってくれたんだって。
それでお寺にいって資料もらってきてきました。
皆さんにも紹介します。

本願寺では、蓮如さまの五百回遠忌法要の

ことこのころには、お仏壇にお札をしてから学校にも行きました。帰つてきました夕食まえにかならずお仏壇にお参りしました。

大きくなるにしたがつて、お仏壇から遠のいていきました。目先のことにだけにふりまわされて、右往左往して過ごすばかり。

そもそも仕方ないことではあるが、時折ふと淋しくなります。

おばあちゃんにも会えます。ナンマンダブツと一緒にとなえたら、ごつついやる気がわき出でます。

ちっちゃいお仏壇がほしいなと思つていた。

納骨参拝研修旅行

行程中降雨ゼロ。まずご本山参拝を終えて大谷本廟で遺族・参加者そろつて厳粛に納骨しました。蓮如さまゆかりの山科別院を訪ねました。草津の順光寺さまへ。ここは前坊守さまの弟君(亡)の寺。寺族・総代・仏事部婦役員あげての歓待に感銘いたしました。琵琶湖遊覧船ミシガンでの八景めぐりのすばらしかったこと。感激づくめの旅でした



現代の住環境に適した様式



迷信・邪信の敗北 科学の限界

病気は昔ほどらくはありません。
よい薬ができる、保険でたくさんいただけ
で、だから病氣しても、案外平氣で、テレビ
ゲームなんかしてあそべます。

「死の恐怖」からも、だんだん解放されつ
つあります。麻醉医療の発達で癌の痛みもス
ッカリとつてくれます。
アルツハイマーだつていかなる難病だつて
、人ゲノム(遺伝子情報)の解読ができる予
防医学の考え方とその技術が徹底すれば、なく
なるはずです。

こうなると、これこれの病をご祈祷でなお
してあげようとか、ホックリ死にたい願望を
おまじないでかなえて上げよう程度の宗教は
もういらんもんです。

そういう具合で、病魔退散・息災延命をあ
やしげな加治祈祷などで癒してあげようと言
うようなエセ宗教はもう御用済みです。

ところがそのように、科学医学の発達で生
老病死のいたみや不安から解放される程度
癒されるとしても、有為法(消滅変化する)
の世の一切の有限なもの(ありかた)である
根源的な生老病死から越えることはできま
せん。

仏法は、その最初から

- ◇「有為の奥山今日越えて、浅き
夢みじ醉いもせず」
- ◇「生老病死を越え、何ものにも執ら
われない完全自由な「涅槃」の境。」

蓮如さまは、それを「雜行をすべて後生たす
けたまえと弥陀をたのめ」とおすすめくださ
ったのだと思います。

お念佛「ナムアミダブツ」は、このわたし
のいのちにかけられた如来の願いの呼びかけ
です。

無量のいのちをよりどころにせよ

お念佛を申すなかで、願われているこのいの
ちを憶いみてみたいものです。



8日 午後八時
「大無量寿經作法」
ご法話 当山住職
九日
午前九時
正信偈和讃
ご法話 当山住職
午後一時半
人会総会

7月
8日
9日

8日 午後八時
「大無量寿經作法」
ご法話 当山住職
9日
午前九時
正信偈和讃
ご法話 当山住職
午後一時半
人会総会

遠く隔たつている人とも無量の光の中で会
えること。無量のいのち無量寿に願われ生か
されているこのいのち。

確かめ合い喜び合う法要。
それが永代經です。
つれだつておまいりください

人生は旅。
いざこへ向かつて?

